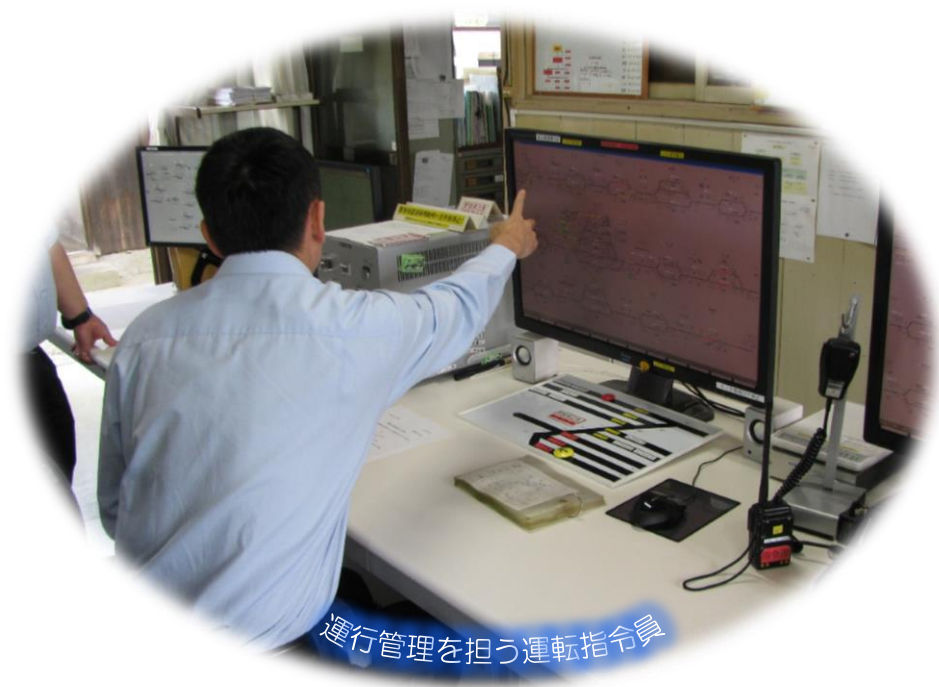


平成28年度 安全報告書



平成29年9月報告



天竜浜名湖鉄道株式会社

I. ごあいさつ

日頃、天竜浜名湖線をご利用いただくとともに、弊社の運営にご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

弊社では、鉄道事業者の最大の責務である、安全で安定した列車運行を確保・継続するため、鉄道施設・設備の更新・保守管理並びに社員のスキルアップ及び安全意識の向上・徹底に努めております。

平成23年8月の遠州天竜舟下り転覆事故を教訓として、「安全・安定した列車運行の継続」を経営方針の最上位に掲げ、安全管理体制や安全教育訓練の再構築、設備投資計画の着実な推進、大規模地震に備えた耐震計画の策定など、社員一同が全力でお客様の信頼の確保に努めるとともに、日頃の鉄道運行の安全対策に万全を尽くしてまいります。平成28年8月には、安全管理目標の「300万km有責運転事故ゼロ」を達成し、さらに500万kmに向けて取り組んでいるところです。また、平成26年度から取り組んでまいりました、特殊自動閉そくシステムの老朽化に伴う新たな信号保安設備の導入も順調に進み、掛川駅から新所原駅間にわたる全線で導入が完了しております。これにより安定した質の高い運行管理が可能になり、トラブル発生時におけるダイヤ復旧能力が格段に向上するなど、安全性や利便性が向上しました。平成29年度も第4期工事として、信号保安設備の機能向上を行ってまいります。

なお、この報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、平成28年度の弊社における輸送の安全にかかわる情報を皆様に公表させていただくものです。安全輸送を維持するために、そして、地域の皆様に愛され、親しまれる存在になるために、皆様の率直なご意見やご感想をいただければ幸いです。



天竜浜名湖鉄道株式会社
代表取締役社長 **植田 基靖**

II. 安全確保のための基本方針と重点施策

1. 弊社では、これまで、利用者の皆様方が、利用しやすく、交通弱者にやさしく、安心してご利用いただけるよう「安全」「正確」「共存」を社是として定めて、会社運営にあたってまいりました。

運転の安全に関する規範として、綱領を次のとおり定めております。

- 一. 安全の確保は、輸送の生命である。
- 二. 規程の遵守は、安全の基礎である。
- 三. 執務の厳正は、安全の要件である。

2. 平成28年度の経営方針は、安全・安定した列車運行の確保・継続を基本としたうえで、「井伊直虎」及び「海外誘客」を2本の柱に据えた誘客事業を展開することにより増収を実現し、将来にわたって地域に必要な会社として成長することを目指します。

3. 平成28年度の安全重点施策は、「安全・安定した列車運行の継続」を掲げ、次の3つの柱を設定いたしました。

- (1) 計画的な設備投資の実施による安全性の確保
- (2) 計画的な教育訓練の実施
- (3) 鉄道施設の長寿命化に向けた取り組み

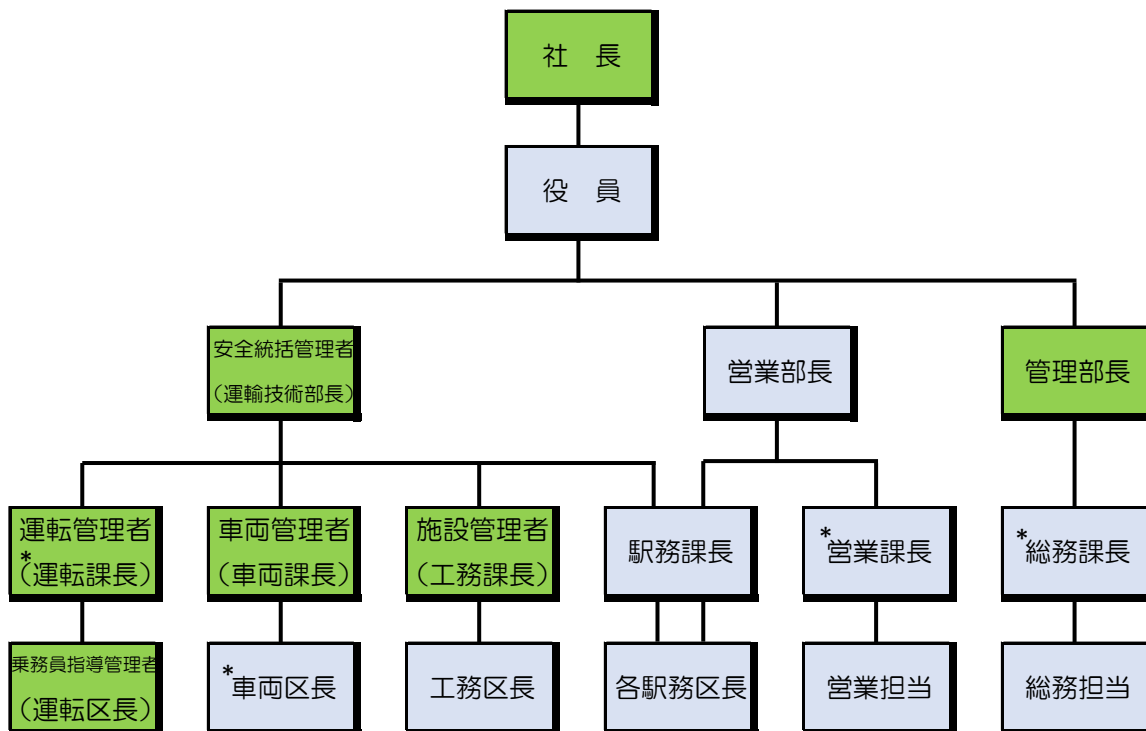
4. 平成26年度から安全管理に対する具体的な数値目標を「300万km^{*}有責運転事故ゼロ」と定め平成28年8月には、300万kmを達成いたしました。これに甘んずることなく「500万km有責運転事故ゼロ」を新たな目標値に設定し、目標達成に向け安全対策に取り組んでおります。

* 弊社社員の責任で発生した列車脱線や踏切障害等の事故

Ⅲ. 弊社の安全管理体制

弊社の安全管理規程に従い、社長をトップとする下表の安全管理体制を設け運用しております。

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を担う。
安全統括管理者（運輸技術部長）	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
管理部長	輸送の安全確保に必要な投資計画、人員計画等に関する業務を統括する。
運転管理者（運転課長）	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設管理者（工務課長）	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
車両管理者（車両課長）	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者（運転区長）	運転管理者を補佐し、乗務員の資質について維持管理する。



* 上席者が兼務

IV. 輸送の安全確保への取組

平成28年度に実施した取組

(1) 安全対策委員会

社長を委員長とする各管理者と現場長による安全対策委員会を開催し、輸送障害の原因分析や教育訓練をはじめとする安全施策の協議を行っております。また、委員会ではPDCA進行管理表により、もれなく着実に計画が実施できる体制にしております。平成28年度において定例の委員会のほか、臨時の委員会も開催し、発生課題の早期対応に努めてまいりました。



(2) 信号保安設備の更新

特殊自動閉そくシステムの老朽化に伴い、平成26年度から計画的に全区間の信号保安設備を更新を進めてまいりました。平成28年度末には掛川駅から新所原駅の全線にわたり、線区集中電子連動システムに移行することができました。これにより運行管理が、運転指令室で一元的に管理・制御することが可能となり、より安全・安定した列車運行が実現しております。

平成29年度の第4期工事では、この新しいシステムのさらなる機能向上を図るとともに、雨量計や風速計の増設を行い近年の局地的豪雨など異常気象時における適切な運転規制が実施できるようにしてまいります。

(3) 線路内への立入防護柵や通行禁止看板の設置

一般公衆による線路内立入りについては、危険性が高いことから社内におけるヒヤリハット情報等を活用し、通路以外から駅構内外へ立入りできないよう防護柵を設置したほか、線路横断の認められた箇所について、通行禁止看板の設置を行いました。また、三ヶ日駅構内におきましては、直前横断防止のための通路遮断機を新たに設置いたしました。



(4) 安全パトロールの実施

全国安全週間にあわせ、社長及び担当部課長らによる安全パトロールを実施いたしました。パトロール箇所は、社内全部署を対象とし職場の整備状況や環境などを点検し安全状態が保たれているか確認いたしました。

(5) 年間計画に基づいた教育訓練

業務の安全管理に関する社員力の向上を図るため、安全統括管理者が年間の教育訓練計画を策定し、その計画に基づいて、基本作業の習熟や災害発生時の行動に関する実践的な教育訓練を行うほか、各種協会等が実施する外部研修会の受講を積極的に推進しております。教育訓練の実施状況については、月毎の定例会議で進捗状況を確認しております。平成28年度に実施した教育訓練の一部を以下に記載いたします。

○ヒヤリハット講習会（5月）

全社員を対象に、安全教育の一環としてヒヤリハット講習会を開催し、ヒヤリハットとは何か、どのように情報を収集し活用するかなど、基本的な座学講習を行いました。



○脱線復旧訓練の参加（5月）

遠州鉄道株式会社様が実施する脱線復旧訓練に、弊社の社員も参加させていただき、脱線時の復旧方法や乗客の避難誘導方法について学びました。



○社内防災訓練の実施（9月）

地震による建物被災を想定し、車両を災害対策本部とした、屋外における社内防災訓練を実施し、情報収集訓練や救護訓練などを実施し、各自の役割分担を確認いたしました。



○静岡県総合防災訓練の参加（9月）

静岡県主催の平成28年度総合防災訓練が掛川駅を会場に開催され、地元住民の皆様及びJR東海の社員の皆様とともに駅から避難所までの避難誘導訓練に参加いたしました。





(6) 踏切事故防止のための啓発活動

交通安全運動期間中は、街頭広報活動の一環として踏切道及び駅構内において踏切通行者や鉄道利用者に対し一旦停止や左右の安全確認等と呼びかけるなど、踏切事故防止の啓発活動を行いました。

(7) 内部監査

安全輸送に関する適正な業務執行を徹底させるため、平成28年12月に常勤監査役と内部監査員に指名した社員による内部監査を実施いたしました。

V. 平成28年度の運転事故・輸送障害等に関する報告

平成28年度は、運転事故が2件発生（いずれも踏切障害）いたしました。インシデント（事故の兆候）はありませんでした。

輸送障害については、自然災害2件、鉄道外の要因5件、電気施設3件、車両関係6件の合計16件が発生いたしました。

なお、安全管理の数値目標である「500万km有責運転事故ゼロ」は、継続して達成しております。

平成26～28年度における運転事故、インシデント、輸送障害の発生件数

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
運転事故	1件	0件	2件
インシデント（事故の兆候）	0件	0件	0件
輸送障害	17件	8件	16件

※輸送障害とは、運転事故以外で運休や30分以上の遅延が生じたものです。

○運転事故の概況

- 平成28年4月19日発生：踏切障害

上り列車の運転士は、踏切道内に進入し停車している大型バスを発見し非常停止したが、間に合わずこれに衝突した。この事故で列車の乗客5名とバスの乗客24名が負傷し、上下20本の列車が運休した。



- 平成28年9月29日発生：踏切障害

上り列車の運転士は、踏切道に差し掛かったところ、自転車に乗った人影を発見すると同時に衝撃音がしたため非常停止した。現場を確認したが衝撃物は見当たらず、自転車の運転者はそのまま現場から立ち去った。これにより上下8本の列車が運休した。

○主な輸送障害の概況

- 平成28年5月13日発生：鉄道外（停電）

電力会社の広域停電が発生し、駅の信号設備が使用できなくなり三ヶ日駅～新所原駅間の運転を見合わせた。電力会社の調査で、ムササビが送電線を支障し停電に至ったことが判明した。この影響で上下6本の列車が運休した。

- 平成28年10月9日発生：電気施設（ポイント故障）

運転指令所において、豊岡駅の電気施設故障を知らせる警報が鳴動したため運転指令は、現場へ係員を派遣した。係員が調査したところ、ポイントの故障が確認されたため直ちに修理を行った。この故障により、上下6本の列車が運休した。

- 平成28年10月19日発生：車両（破損）



上り列車の運転士は、駅のホームに進入する際に異音が生じたため直ちに停止した。確認したところ蓄電池箱の蓋が破損していた。このため同列車の運転を取り止め、車両基地へ回送した。この影響で上下5本の列車が運休した。

VI. 施設整備・保守検査等の計画的な取組

- (1) 平成28年度の施設整備・保守検査の実施状況

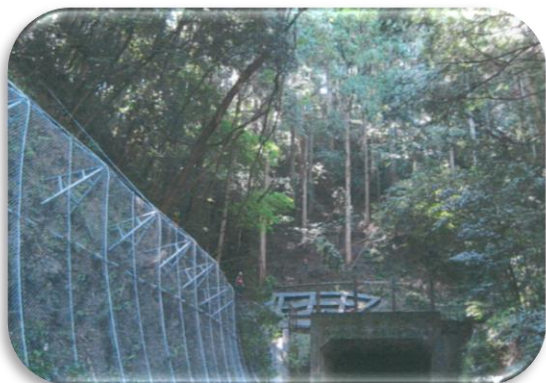
平成28年度安全輸送設備等整備事業や、交通サービスインバウンド対応支援事業等の補助を得て、以下の施設整備、保守検査を行いました。

なお、施設整備関係は 337,274千円、車両関係は 72,716千円でした。

区分：設備改修	整備内容
線路設備	• レール交換 • コンクリートまくら木交換 • 橋りょうの合成まくら木化その他
	
レール交換	橋梁の合成まくら木化

区分：設備改修	整備内容
<p>電路設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・閉そく装置における連動装置の改修（線区集中電子連動化） ・踏切器具箱の更新 ・信号通信ケーブルの交換 ・通信支柱のコンクリート柱化
	
<p>閉そく装置改修（線区集中電子連動化）</p>	<p>閉そく装置改修（信号機増設）</p>
	
<p>踏切器具箱の更新</p>	<p>信号通信ケーブルの敷設</p>
区分：車両検査	整備内容
<p>検査修繕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要部検査（計4両） ・車輪削正（計4両）
	
<p>重要部検査（台車組立）</p>	<p>重要部検査（機関分解）</p>

区分：その他	整備内容
保全・保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・落石防護ネット設置 ・沿線の除草薬散布、植栽管理 ・電気設備保全点検
その他工事等	<ul style="list-style-type: none"> ・車両基地ピット修繕 ・施設関係及び車両関係など



落石防護ネット設置



除草作業



支障木の伐採作業



踏切舗装



車両基地修繕



運転状況記録装置取付

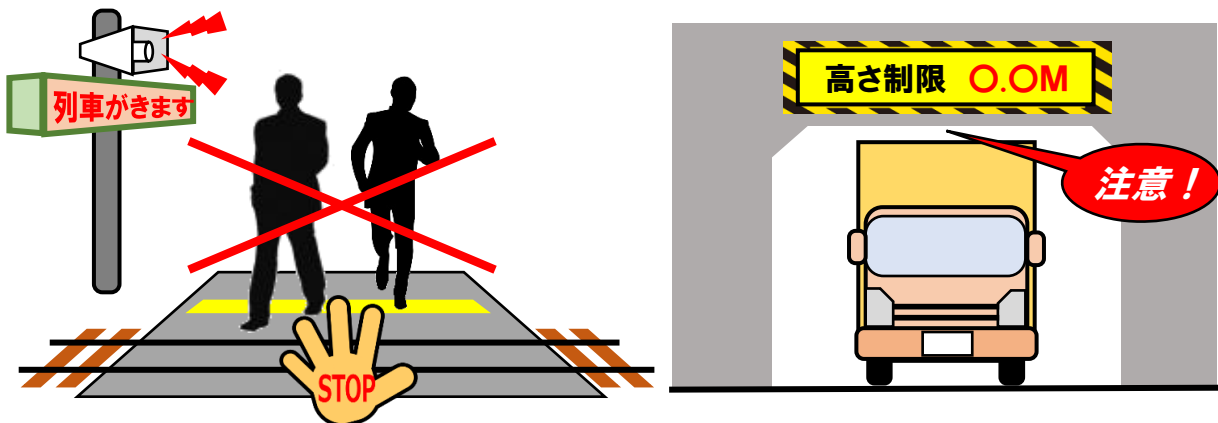
(2) 軌道や車両等の整備、検査について

弊社では、社内整備基準に基づき各種検査を定期的を実施しております。軌道に関しましては、軌道検測車や徒歩による軌間、高低、通り、平面性等の軌道状態の計測をはじめレール、枕木等の部材検査を行うほか毎週、巡回検査を実施しております。車両に関しましては、稼働日数に応じた仕業検査、交番検査、重要部検査、全般検査等の検査を実施し、安全・安定輸送に努めております。

Ⅶ. ご利用の皆様・通行される皆様にお願

事故防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- ・ 駅構内の通路では、警報機が鳴ったら渡らないでください。
- ・ 駆け込み乗車は危険です。余裕をもってホームで列車をお待ちください。
- ・ 線路内には、立入らないでください。大変危険です。
- ・ 踏切では、必ず一旦停止をし左右をよく見てから渡りましょう。
- ・ 大型自動車や荷物を積んでガードをくぐるときは、高さ制限に注意してください。



Ⅷ. 問い合わせ先

安全報告書へのご意見やご感想は、下記までお寄せください。

〒431-3311

静岡県浜松市天竜区二俣町阿蔵114-2

天竜浜名湖鉄道株式会社

TEL 053-925-6125

(土曜・日曜・祝日を除く、9:00~17:00で受付)



のどかな田園風景と奥浜名湖を巡る天浜線